

# 縄文土器のまとめ

2017年12月31日作成

MTO技術研究所所長  
兼 加飾技術研究会 副会長  
梶井捷平

## 縄文式土器について

### 1. 背景

以前にも書いた通り、プラスチックの加飾に興味を持ち、それを体系化して残していきたいと思い、「リニューアルした加飾技術研究会」で、その発展に注力している。

その中で、「縄文土器」が日本における加飾のルーツだと思い、実物を見たいと思っていた。知人からそれは國學院大學博物館で展示されていると聞き、2017/12/19に訪問して見学した。(見学メモは <http://www.geocities.jp/masuisk3/Jyoumondoki2.pdf>)

### 2. 今回のまとめの目的

前のメモでは、縄文時代の6時期での土器の変遷、違いが必ずしも明確ではないので、Web検索で、もう少し調べて、まとめた。

出展によって、それぞれの時期の代表例が少し異なるが、大きな変遷の理解が進んだ。

### 3. 若干の考察

草創期は、文献によって、無文だったと記述されているもの、既に縄文があったと記述されるものがあるが、いずれにしても、今から10,000年より前から、縄文による加飾が行われていたのは事実である。その後、より進んだものになり、中期には、「豪華な火焰土器」も現れ、1つの頂点を極めた。その後は、**実用性、芸術性が重視された物に進歩した。**

火焰式土器は、**華飾**(派手に飾り立てること、ぜいたく、身分をこえて、尊大なこと)に通じるように思う。我々加飾研究会が目指している加飾は、「見栄えを向上させ、より魅力的な製品を作る」ことであり、「**華飾は、別次元のもの**」だと思っている。

## 縄文時代、弥生時代の概要

## 1. 縄文時代

縄文時代は、今から約1万6,500年前(紀元前145世紀)から約3,000年前(紀元前10世紀)で、世界史では中石器時代ないし新石器時代に相当する時代である。

縄文時代とその前の旧石器時代との違いは、土器の出現や竪穴住居の普及、貝塚の形式などがあげられる。草創期(今から1万6500年前～)、早期、前期、中期、後期、晩期(紀元前1000年～)の6期に区分される。この頃の日本列島人は縄文土器を作り、早期以降定住化が進んで、主に竪穴式住居に住んだ。生活の中心は狩猟や採集といった、自然中心のもの。

縄文土器は、野焼きで低温で焼かれていて、厚手、縄目模様があります。そのほとんどが口が広くて深い、深鉢形と呼ばれる形をしている。これは、料理の煮炊きに使用したり、雨水をためるのに都合の良い形だったためではないかといわれている。

## 2. 弥生時代

弥生時代は、縄文時代後から次の古墳時代が始まる3世紀後半ごろまで。稲作などの農耕生活が中心となっていき、竪穴式住居を作り、集団で一か所に定住するようになった。

弥生土器は、縄文土器とは違い呪術的要素がなくなり、実用的なものがメインになった。野焼きから、土器に土をかぶせて高温で焼く方法に変わり、薄手になった。

さらに、直線や幾何学模様など、手の込んだ模様が多くあるのが特徴。稲作が始まったこともあり、坪型や甕型、高坏などのより実用的な形のものが増えてきた。

## 縄文土器の時期別の特徴

- ・草創期 今から1万6500年前～  
底が丸い「丸底深鉢土器」が多かった。
- ・早期 紀元前8000年～  
先のとがった「尖底深鉢土器」が現れ多く使われた。
- ・前期 紀元前4000年～  
「平底深鉢土器」が多かったようです。全面に深い縄目を施したもののや盛り上げたもの等も出てきた。
- ・中期 紀元前3000年～  
「装飾が増え大型の土器」が使用されるようになったようです。豪華な「火焰土器」も現れた。
- ・後期 紀元前2000年～  
「小型の土器」が主流となる。豪華さより実用性をメインに作られた。
- ・晩期 紀元前1000年～  
芸術性が含まれた土器が作られるようになり、大きさも小さくなりより精巧なものも多く現れた。

### 縄文土器の時期別の代表例—1

(國學院大學博物館で見学した土器から)



草創期



早期



前期



中期



晩期



後期

### 縄文土器の時期別の代表例—2

(読むだけ日本史から) [history-of-japan.hatenablog.com/](http://history-of-japan.hatenablog.com/)



草創期 丸底深鉢土器  
隆起線文土器



早期 尖底深鉢土器



前期 平底深鉢土器



中期 火炎土器



後期 注口土器



晩期 亀ヶ岡式土器

## 縄文土器の時期別の代表例—3

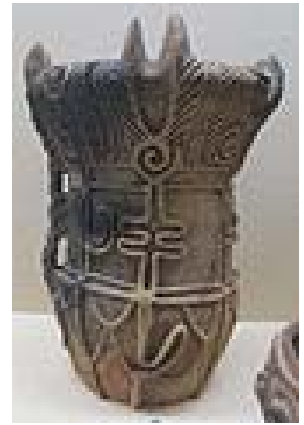
(ウイキペディアから)



大平山元I遺跡(青森県外ヶ浜町)  
で出土した草創期の土器片16500年前



円筒形土器 縄文前期  
青森県八戸市是川  
一王寺貝塚出土



把手付甕形土器 縄文  
中期 長野県伊那市  
宮ノ前出土



深鉢形土器 縄文中期 東京都  
あきる野市二宮大塚出土



人形裝飾付壺形土器  
縄文後期 青森県弘前市  
土腰内出土



注口土器 縄文晩期 青森県つがる市  
亀ヶ岡遺跡出土

<https://ja.wikipedia.org/wiki/縄文土器>